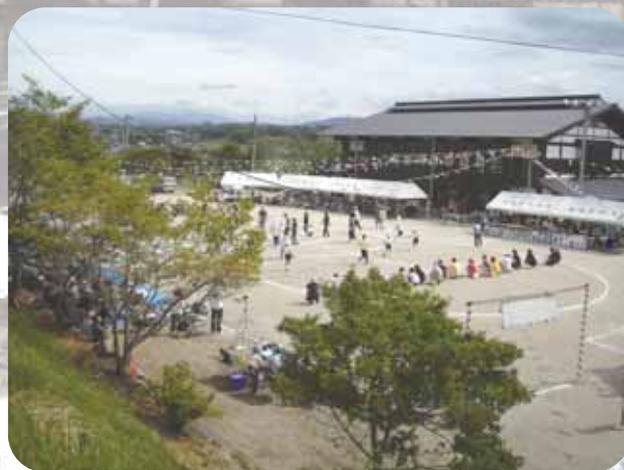


勝央町

第106号

議会だより

平成19年11月1日発行 編集/町議会広報編集委員会
発行/岡山県勝央町議会 〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 201 TEL(0868)38-3111



▶ 第3回定例会・審議他.....	2頁
▶ 監査報告.....	3頁
▶ 一般質問.....	4・5・6頁
▶ 陳情・請願・組合議会他.....	7頁

第3回定例会

西田町政3期スタート

施政方針と諸般の

報告要旨

- ◎国の改革と地方の格差問題
- ◎国の予算概要と町への影響
- ◎少子高齢化社会への対応
- ◎平成18年度決算審査
- ◎小学校の改築と北部3小学校統廃合の準備
- ◎企業誘致の状況
- ◎第62回秋田国体に向けて

議案審議

条例案件

勝央町特別会計条例の一部改正他1件

町道廃止

町道認定

補正予算

平成19年度一般会計補正予算他5件
右全議案を可決承認しました

決算認定

平成18年度一般会計歳入歳出決算認定他13件
右議案は継続審査として休会中に審査を行う

報告

平成18年度宅地造成事業特別会計継続費繰越計算書他4件

監査報告

監査を実施しました期間、上水道事業会計については本年5月29日、

勝央町役場3階第2委員会室、及び5月31日勝央浄化センター3階上下水道部において、また一般会計他12の特別会計は7月9日から7月31日までの間で8日間、審査いたしました。

決算審査に当たりまして、勝央町長から提出されました全ての会計について、歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書、について計数に誤りがないか、予算の執行は関係法令に従って、公正且つ効果的な財政運営が確保されているか、財産の管理は適正か、基金の運用状況はどうなっているか等に主眼を置きまして、所管からの関係書類と担当者並びに総括参事と収入役の説明に基づきまして、それぞれ関係諸帳簿及び証憑書類との照合確認を

行なうなど、必要と認められる審査手続きを行ないました。

この決算審査の中で、特に注意した点、並びに問題点の指摘につきまして、決算審査意見書として8月23日に西田町長、並びに宮本議会議長に提出いたしました。総括事項といたしまして、2点申し上げます。

水道事業関係

本年度は4千947万円の赤字決算となり、累積損失額は1億3千529万7千円となっております。

原因を分析しますと、年間総配水量と年間総有収水量との差は55万5千448㎡で、前年比14万3千774㎡の増加となっており、有収率が73・63%で前年比5・46ポイント減少しております。この状況から見て相当量の漏水があるものと思われれます。

広域水道企業団からの浄水を購入しての配水で

あり、配水管網の整備、流量計の設置、減圧弁の設置等、町内全域にわたり漏水監視網の整備と監視体制を確立する等、漏水対策を徹底して行い早期発見・早期修理の体制を確立し、有収率向上に最大限の努力を切望いたします。

また、水道料金滞納額が多額にのぼっています。滞納の徴収には努力をされている所ですが、これを回収することにより漏水対策整備資金として積極的に利用ができ、あるいは起債の返済、あるいはこれを運用する事による受け取り利息の増加など、決算赤字の縮小を計ることができそうです。

水道料金は100%徴収するのが「当然である」との認識にたち、水道利用の全町民に対し、利用した水道料金は全額払うという意識改革を図りつつ、徴収率向上の実績を示していただくよう切望いたします。

財政健全化

全国の多くの市町村で、

予算編成がままならないほどの財政が困窮している中において、平成18年度の一般会計及び特別会計の決算はいずれも黒字決算となりましたことは、自主財源の確保と行政経費の節減の努力の賜物と高く評価いたしたいと思えます。

景気が回復していると言われていますが、地方の財源不足は引き続き厳しい状況である事に変わりはありません。

三位一体の改革以後、地方交付税の推移から見ても伸び率はほとんどないような状況で、実質的に大きな減収となっております。

このような中、一般会計において実質収支2億2千581万円の黒字決算で、単年度収支においても1千106万6千円の黒字となったことは評価すべき財政の運用であると敬意を表します。

ただし、徴収事務について、町税・国民健康保険税・下水道使用料・住宅使用料・保育料等、依然として多額の滞納が見

受けられます。特に保育料の滞納については、毎回指摘したにもかかわらず、年々増加しております。このことは将来の勝央町を担う比較的若い方々である事が問題であります。入園申し込みに当たっては、課税証明により応能の負担をいただくよう、提示されていると思えます。しかし滞納している保護者には、何らかの理由があると思われませんが、いずれにしても理由があれば滞納しても良いという、意識を持たせていることが問題であり、その方が今後社会生活を営んでいく上で、多方面において支障をきたしていくのではないかと憂慮いたします。

このようなことから、滞納があるそれぞれの担当課においては詳細に分析し、滞納整理は財政健全化の第一歩であるとの認識にたち、滞納を放置することは町民の納税義務及び使用料負担に対する公平感を阻害することであり、町民の信頼を確保する上からも、法的手段を駆

使用する等、滞納整理の効率良い対策を確立し、一層の徴収努力を望みます。

また、地方債は当該年度においては3億1千200万円で、前年度対比9千700万円の減少となっております。しかし、勝間田小学校の改築等により今後、地方債残高も増加する事が懸念されますので、一層の合理化、効率化を図られ最小の経費で最大の効果を上げる基本姿勢に立って、わが町が当面する行政課題の推進と、多様化する住民の要望に対応されるよう期待いたします。

以上、2点申し上げますが、全体的には良好な行政運営が行なわれていると感じました。今後、より一層町民と「自立と共生」に立って「勝央町に住みたい、住んでいて良かった」町づくりを全員一丸となって邁進されることをお願いいたします。監査報告を終わります。

監査委員

国政眞一
岡本良市



一般質問

日笠善勝

奈良県での事例から少子化の一因排除を願う

問 日笠善勝 奈良県で今年、分娩を控えておりながら病院をたらい回しされ結局は母子ともに死亡した事故がおきた。

美作県民局管内で妊産婦は安全に安心して出産育児ができるのか、施設の数や規模、さらに業務内容に自治体の配慮は不要か。



町内での事例は無い

答 健康福祉部参事 妊婦の救急受け入れが困難になった問題で、岡山県では1回以上断られたケースは17件、美作局管内で

は平成18年に1件ありましたが、かかりつけの医師がいなかったため町内での事例はありません。

津山英田圏域の産婦人科病院は2カ所、56床、診療所では72床です。妊産婦人口に対する産婦人科数の割合は増加しています。これは妊産婦の人口が減っているためです。

勝央町としては妊娠、出産の安全の向上のため妊産婦初期から必要な母子保健サービスの情報を入手し利用する事を目的として、早期の妊娠届けを啓発している。また妊婦健康診査の受診勧奨を目的に公費負担を2回実施している。

住民年齢階層とこれからの行政展開の見込み

問 日笠善勝 勝央町の住民年齢階層の現状はどうなっているか。団塊世代の退職から就業者減が始まっているか。今後の給与所得者の変遷を想定し、町行政展開に留意することは無いか。

は平成18年に1件ありましたが、かかりつけの医師がいなかったため町内での事例はありません。津山英田圏域の産婦人科病院は2カ所、56床、診療所では72床です。妊産婦人口に対する産婦人科数の割合は増加しています。これは妊産婦の人口が減っているためです。勝央町としては妊娠、出産の安全の向上のため妊産婦初期から必要な母子保健サービスの情報を入手し利用する事を目的として、早期の妊娠届けを啓発している。また妊婦健康診査の受診勧奨を目的に公費負担を2回実施している。

就業体系も変わり細かく把握ができてない

答 町長 昭和22年から24年にかけて生まれた方々を団塊の世代と呼ばれています。現に勝央町でもこの年代の方々が多いため以前は農業に従事する人も多かったが、戦後の景気の回復で第3次産業である企業や役所などサービス産業に就業が移り、昨年から再来年にかけて退職者が増える見込みと思われませんが、昨今の企業業績の回復で企業に残られる人もあり勝央町に直ぐに影響が出るかどうかは細かく把握ができていない。

農業の将来は閉塞感だけで農地の荒れ放題に対処を考えているか

問 日笠善勝 農地・水・環境保全の新しい制度も狭小な区画、高い畦畔の地域では導入が無理と思う。今後の取り組みはどうか。

は平成18年に1件ありましたが、かかりつけの医師がいなかったため町内での事例はありません。津山英田圏域の産婦人科病院は2カ所、56床、診療所では72床です。妊産婦人口に対する産婦人科数の割合は増加しています。これは妊産婦の人口が減っているためです。勝央町としては妊娠、出産の安全の向上のため妊産婦初期から必要な母子保健サービスの情報を入手し利用する事を目的として、早期の妊娠届けを啓発している。また妊婦健康診査の受診勧奨を目的に公費負担を2回実施している。



総合病院

採算性の問題等での対応は難しい

答 町長 農業に対する魅力がだんだんと薄れ国や県・町と各種の対策事業を組んで農地・水・環境保全に取り組んでいるが活動組織の立ち上げや、活動計画のこしらえ、市町村との協定を結ぶこと

は平成18年に1件ありましたが、かかりつけの医師がいなかったため町内での事例はありません。津山英田圏域の産婦人科病院は2カ所、56床、診療所では72床です。妊産婦人口に対する産婦人科数の割合は増加しています。これは妊産婦の人口が減っているためです。勝央町としては妊娠、出産の安全の向上のため妊産婦初期から必要な母子保健サービスの情報を入手し利用する事を目的として、早期の妊娠届けを啓発している。また妊婦健康診査の受診勧奨を目的に公費負担を2回実施している。

など手間の掛かるものが多い。

事業としては畦草刈りや水路の清掃など並段行っていることではあり、それに補助金がつくことでもあるのである程度相当の地区で取り組まれるものと思っていきましたが、思惑どおりにはいきませんで進んでないのが現状です。対応としても難しい。

植月 彬

納税にクレジットカードの導入を

問 植月 税金や水道料金などをクレジットカードで支払える自治体が増えてきている。これは納税者にとってはカードのポイントをためられる利点がある。未納税者への督促は口座振替の場合は町がするが、カード支払ならカード会社が担当するので人件費などの節約になるのではないか。



一長一短があり検討をようする

答 町長 自治体によりこの方式を導入している所もあるが、問題は未納の方々の対応をどうするかである。またクレジッ



仮校舎のフォローを

トカード会社への手数料も1%も取られるとなると、差引すれば逆に経費が増えることも考えられるので検討していきたい。

表彰規定の見直しを

問 植月 9月17日の敬老の日に福祉推進委員の立場で出席した。その中で90才と95才の方々にそれぞれ表彰がありました。その対象者が数名ずつおられるにもかかわらず、当日の出席者は各1名でありました。敬老の日を祝うためにも表彰の対象年齢を引き

現状では難しい

下げるなど、出席者を増やすためにも表彰規定の見直しを検討したらどうか。

答 町長

現在90才の方に1万円、95才で2万円を「長い間ご苦労さまでした」と感謝の気持ちを含めて差し上げておりますが、町全体では人数も多く経費もかかり、年齢の引き下げはさらに増加にもつながる。

社会福祉協議会も敬老会の運営に近隣市町村の動向も見極めながら対処

すると聞いている。

仮校舎のフォローを

問 植月 勝間田小学校の改築に伴い仮校舎が建てられ2学期の授業が始まったが、今夏の記録的な暑さで教室内は室温が上がり児童は勉強に大変と思う。一応扇風機やスダレでしのいでいるが、今後の授業に支障のないようそれぞれに対策をたててフォローしてもらいたい。

授業に支障のないよう対応していく

答 教育長 厳しい残暑が続き校舎内の温度も上がり、この暑い中で子どもたちは乗り切ってくれました。この分では冬の寒さも大変厳しいことも予想され石油ストーブでの対応を考えている。

また雪や雨により階段がぬれたり、凍結したりすることも予想されるのでこれらについても対応していく必要がある。

全国一斉テストの公表は

問 植月 文部科学省による全国一斉テストが小学6年生と中学3年生を対象として国語と数学の科目で行われた。そこで正答率と順位の発表を行うかどうかで問題になった。文部科学省は各自治体にゆだねる、

としているが勝央町として正答率を公表して欲しいが。

県からの指示を待って

答 教育長 文部科学省による全国一斉テストは昭和40年代初めに行われて以来のもので実施に当たり、序列化や過度な競争につながる必要はないように配慮が必要であることを踏まえて、学力テストの実施要



まだまだ若い者には負けんぞ

領を作成した。当教育委員会はこの実施要領を前提として調査に参加したことから、結果の取扱いについてはこの実施要領に基づいて行うのが基本です。県が全体を集約してその結果及び今後の改善方策も含め文章表現で説明をすることです。

福田 弘

福祉バス運行の見直し

問 福田弘 福祉バスが運行してからかなりの年数がたちました。利用される方にとっては大変便利であったと思います。そこで開始当時と比べ道路の事情や生活環境など条件が変わって来ていると思う。ここで各地域、団体等の意見を聞いて路線変更や運行時間の見直しを検討してはどうか。



関係の方の意見を聞いて見直しを検討

答 町長 今の福祉バス方式と北部の通学バスと組み合わせることになるので、見直しは必要と思

う。ただ経費や効率の面から福祉バスの運行には教育委員会や関係の方との意見を聞いて早めに結論を出す必要がある。

育児休業給付について

問 福田弘 国は子育て応援プランの一環として、育児休業給付の引き上げを現行の40%から50%にこの10月から行うと聞いたが内容がよく解らない。少子化に対する子育ての応援に役立つものと期待できる。

町内で子育てをしているかたにPRをしていただきたいがどうか。

細かく要件が異なる

答 産業建設部総括参事 この制度は満1才未満の子を養育するために休業した被保険者の方に一定の給付金を支給することによって、育児休業を取得しやすくするとともに、その後の円滑な職場復帰を援助促進し職業生活の継続を支援するもの

であります。給付金は2つあり基本給付金が30%で、この10月より職場復帰給付金が10%から20%になり、合計50%となるものです。これには要件が異なる場合もありますので役場か公共職業安定所にお尋ね下さい。

子どもの「交流プロジェクト」について

問 福田弘 農山漁村に長期滞在して自立心、思いやり、社会性を身につけるために、総務省・文科省・農水省の3省が推進している事業があると聞く。具体的に内容がわかれば説明して欲しい。吉野・古吉野地区でも受け入れられるものかどう

来年度より施行で具体的には未定

答 教育長 これは小学生が農村・漁村に民泊を1週間ほどやり、いろんな体験をするという事業で総務省・文科省・農水

省の連携事業でございます。各地にモデル地域を作り受け入れ態勢ができた箇所から、子どもたちを派遣していく事業ですが、多人数を宿泊させて研修するといったものは無いと聞いていますが、具体的には未定のことです。



福祉バス

みんなで防災 in 勝央

さる10月21日勝央文化ホールに於いて実施され、負傷者の救護、及び消火器の実技指導を受け、多数の方が熱心に取り組み、自信を得られた様子が伺われました。また基調講演として元芦屋市役所、谷川氏による阪神・淡路大震災について現場責任者としての体験談に基づく講演に感銘を受けた。



落ち着いた的をめがけて

陳情・請願

■岡山県私学助成をすすめる会 会長 小橋 操

国・県に対する意見書の提出を要請する陳情書

■岡山県農民運動連合会 代表者 坪井 貞夫

品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める陳情

■岡山県農民運動連合会 代表者 坪井 貞夫

飼料価格の高騰による農家負担の軽減と、国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める陳情

■岡山県農民運動連合会 代表者 坪井 貞夫

アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、全頭検査への予算措置の継続を求める陳情

■岡山県農民運動連合会 代表者 坪井 貞夫

日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める陳情

■岡山県保険医協会歯科部会 会長 木村 秀仁

「保険でよい歯科医療の実現を求める意見書」の採択を求める陳情
以上6件は採択した。

■とめよう戦争への道 百万人署名運動

岡山県連絡会 代表 野田 隆三郎

岩国市市庁舎建設補助金交付打ち切りの撤回を求める陳情書

右陳情書は継続審議とした。

組合議会

◎津山圏域

消防組合

・人事案件

議長 米井知博

副議長 浦矢 薫

◎津山広域

事務組合

・人事案件

議長 米井知博

副議長 三船勝之

・予算案件

一般会計補正予算

◎津山圏域東部

衛生施設組合

・人事案件

議長 松本義隆

・予算案件

一般会計補正予算
2千995万5千円追加。

編集後記

日毎に秋の気配を感じる、とは云え暑い秋であります。農作物等を与える影響は大さきいものと思われまふ。

9月の町長選挙には西田町長が再任され、「町民と共に歩む政治」をスローガンにスタートしました。

国会では、戦後生まれの安倍首相が突然引退し福田政権が誕生しましたが前途多難な様相です。

地方に目を向けた政治を期待したいものです。

秋を楽しみ冬に向いますが、スポーツ等体力を養い読書の秋も楽しみ、広報委員も研修を重ねて、皆さんの御期待に応えたいものです。

議会広報委員一同

想

い

出

を

の

こ

し

て

